地時女體治系

界十任〇手冰·

所話

址間醫各療性 根夢

法上生種無視治門

印根各

病私母

六湖病 化

章特下 病

索種建計

票冶用 一麽最

分機新

產精科

经密姆

科顯方

黎

傷舞跳

面具舞

的

樂

家

美的

舞女

也報子

速來信子事像

號責惟波

或你吾知

用且有悉

電你諸吾

話母多于

洋父及親不五

貸 信思明月

莊國件念瞭初

話樑報疾處津

二一吾吾事辦

有寢至你解食此經

决失吾手

局啓好亦既理

商

場

詳成之到

遠早再再日一體) ,我問訂被不但了聽的一拖管叫了法) 請就簽楊局) 得)) 不作

(演開夜日天今)

巨偉歌滑香風名

片大唱稽艷流部

王親騷騷

笙璜史

作偉一第

主珠

實歷昌 類銀銀銀

站界租大

白機

北馬路鄉事處

電話三〇七

一九

= 76

地址

分禮 行行

分行法租界聯島街 地方日租界顧島街

電話外行三二四六三 銀 行 報 苦 銀 行

糕

為論時止痛「春

海。

首魁伶坤幟一樹獨

舒

花桂草蓉樵春仙蝶

趙 小 陳 金 云紫水香濤艷花蓮

小 芙

馬

犯 准晚今 演揚天

律

在

北天

平津趙朱

公界 從鴻 府山

二號 電話 在 法 注

小平電話 一等 大樓會出通知 長有更動說 一長有更動說

) 華成) 日北

東局六七八號電話二三五二五

南

銀

○索銀費

九郎行本

八奉一七

三津業五

〇行務十

〇英辦

租儲公

三界蓄積

〇中利金

○街息一八人 優百

三電厚五

話手十

三積五

一簡萬

六捷元三備

①有經

切百

合

金鐘河

賽(萬國)

(時間)

東下六月十

十六个

本點子

馬邊賽

华八

話四局〇

二四一線

以每

上天

遞每

期洋

議角

價三

目方

承起

索碼

寄天

券華

認郵 爲政

新特

開准

外每

埠月

零五

售分

每华

份年

大二

銅元

元五

三角

務所

天津

日租界秋

山

民程十北國部日平 二份起天 二限售問星 月期日期來 十日一尾回 三起天來票

星將票售

期發向星 刑發问是 1

之日星日

末期期一

次改五天

車為六▼

不期日

論五發

何六售

次及弦

客星将

車期便

均日利

可三旅

持天客

用當起

特班見

此車定

廣有自

告效五

使館武

動

中軍馬丘堂晤何·對解决為 中軍撤退區域之特警。 預定 工相當地點,與 日軍已在 工相當地點,與 日軍已在 工程管地點,與 日軍已在

主解察

處

趙從 師任受 價 减 常 電法律顧問對 李壽 顧年 問法

設並 山劍使衛 通告

元貨

起日十月六 行時店津 日题

街洪德里四號電話二三五二五 枚全 郵车 原四 九元 五五 扣角 即順向喜養工物數百名,內經 中孟家塢楊莊 少至香河縣屬之柳官屯、再至三河縣屬夏墊東八里之富口名、內鮮人甚多、通州今晨十時電、日軍向東山名、內鮮人甚多、通州今晨十時電、日軍向東京與河趙電部仍在城中、據城內近日第二十一個東京縣 一電話日軍訊入廣思及區域、均暫由內政部與嚴疑官可解

多、通州今晨十時電、日軍仍在城中、據城內逃出難民稱日、發現為軍向運輸大車 射報

向東撤退

古營

情况與

守

這雖後

備向熱西機低飛偵 方面開進 时南 **為祭省** 青龍橋

横様、關溝等

中黨

平

有 均

來

號十七百一千一第

1十五日

1北平電話■平級

中 續向喜峯口撤退

俟名得平晚此話 察義以 · 或問 🖹

電響・成就の大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、 此發 振 贊五

街 有處 生財池 方極挑趙氏)十北 一一雙姊妹花占去趙老和、金香有妹金桂,那一雙姊妹花占去趙老和、金香有妹金桂,那女女為妻王氏因病逝於女金香,熟度達成女金香,熟度達成女金香,熟度達成女金香,熟度達

愛我這 老的

流》河

海泥上

然而下,充積海河、津海河情形、近因永定河上河情形、近因永定河上河情形、近因永定河上河情形、近

者 歸乘外揮香日郭夕 另先 四縣曠以金下氏身築生 區逃警攀柱午,在金是 六階) 足 姐找事 温 屋

(治) 尼斯 日服保利 一比 西法 小願中 租可斷氏 頭租兒節風 界無根督 中憂無生 原矣論發 廣界 能腫嫌 東三 風痛強 學十 校七 房 藻 口 北 號 胃 症 眼 浴 路 名 治 子 治 。 公大新明 司紅人新福一均義記元能事 伯 稻試樂台 癵 香服到五 租界明記稻香 大

發票分為是精日萬術 行代,宗屬裝心總家 所洋書旨,一得教金 天九印,以册,練君 津五無每養,教等恩 療

費特國心·研劈 洋價··現究刺 一洋自决巴)数 角一衞非出茲伽)角禦惟版本。

均 有

團術藝險冒中空

◆台登夜日天今

新

賈波林

開九晚三早

翻

空

人艷舞

總郵五侮利、平武國

明金). 鼠 香烟

機模 型製造講義出版

元 負責指導不另取費 頭

價五 發行:天津河北大經路南

知之個為貨

停券優:一門 用暫待:元票 (経笑) 開谷網情地 辦常决各 言宜特宜夙本 開非深別顧有公 設處望大主定司天季東也
東也
域起價出
東
特
各
價
見
凡品
十
完
院

蝶演

元開界克佛探

新獸為畫險

關虎龍

社刻坤德同請特

蓋張劉

晚日廿 早日廿 本頭 **空**

又

榮蘊

(因帰)

胡

主

因二啼

緣集笑

▲宿開日期星▶

林波賈王大林笑

場冰滑鬧大

▲演開時同▶

片巨華電電

記暴抗兒孤

◀塲早期星▶

戰

中國華成煙草公司出品 一人味好 價錢巧

電德病核糾 話鄒

道 速関風

信儲國

喜務切業京濱北分十公本 等氣商要鄭大平行萬積金 辦業目州連青上元金一 貨銀專蘇漢島海 二千 核行辦州口哈天 百萬 儲業一 南爾津 八元

(大學) (注射) 各班 (注射) 各班 (注射) 各班 (注射) 各班 (注射) 各班 (注射) 各班

局一城鸭特四印勝俠 佩集角別價角准境傳 文▼博三八外七尤章

德務書一單部日標場 一集 記印局實購寄日手並 書館第一十歲是 一集 一個大北風集一此一優 有東松報仍分次編美 代書壽社照郵印可情

世局天價九較臥鷺 界,群九五多遊險 曹三市折扣成之新口

友敬內織

種衣

北總經理

二三八〇五

七地清血關了海療 號址而清節三型推

城會交街出 中宫民六租 南北塞十保 取 十分個 大大匯七管 可 年 月 陸街昌號箱 分 兩 滿

浴 · 漫野 · 一漫野

年聯之極其沙

樹日患高形

) 北

凶,紅寶問胡,貴

公言) 域

殉未颐也

節已履》時,下府

也仆床中

• 地 • 姬) 呼人

移家某

時人) 始日方 蘇)臨

) 大窗 明人 治

此喜杜拿約抵。在

至 · 速 推 慰 忠 一 年 樹 八 正 出 蝦 死 一

三戲 電新 二院 話明 中標曾任王永江為內務總長
中標曾任王永江為內務總長
中標曾任王永江為內務總長
中有「永江以麋鹿之材、直軍敗積、馮玉港
中有「永江以麋鹿之材、直軍敗積、馮玉港
中有「永江以麋鹿之材、祇宜疏放山
非素願」云云、言愐意赅、識者諒之
非素願」云云、言愐意赅、識者諒之
非素願」云云、言愐意赅、識者諒之
本、過處廬墓皆沒、邑民謂有泥鮲精、
此地是三分治民、七分治水、乃所
中世世是三分治民、七分治水、乃所
中有「永江以麋鹿之材、祇宜疏放山
非素願」云云、言愐意赅、識者諒之
本、百年樹八、賢者吐屬、固殊俗吏
由 忠 魂

物金店

) 頻草)京

本年》因》

辦 温大

一段雲・正盧微碧羅細一段雲・正盧微揚碧羅細一段雲・正盧微揚碧羅細

を表面施舌、 表面施舌、 表面施舌、

之日鬼並者者多停封) 事即)其)人業門營軍 實停大人撫入)之歇業督 也止譯失其治有前業甚院 ▶ 一路 > 所頭者入一 > 盛前

1)以左势 而楚為操苦 都 中久

角路路界

行銀業鹽 金五萬



明發士醫大梅掃袁 液療洗濁淋

房大界角元期論籍不赤子 棚延 五保新苦打白五 概嗣 角除老 針帶鄉

金儲壽人 利二保儲益重險蓄 目要業營

路號四界租法行分津天

啓善失售部使勤稽許書 女只情著 里本至定你處趣多洋子、長新 生中主定称處趣多件/人類有 七市本價悠如料屬裝 十法月一悠音悲觀兩戶 七租二元然樂壯風巨 號界十二而之熱光册 **紅** 島三日角暮頓情**香** 明十止特怒挫文艷 (語芸部) 在 性交通銀行 經濟儲蓄部

विधि

龙

何

行銀通交

西行一經還經代 河址 切營本理理



楊氏醫學五

種

楊如侯先生遺著

和計算裝訂無多購請從速 特本售洋四角五分外埠函 特本售洋四角五分外埠函 特本售洋四角五分外埠函

海

一先緯收元寫件書接茲時 二潤路件五心取者至仍已 四後天處日經筆不本照入

書風特取全潤收館往夏

電報別件部二墨以年行

話館三 每元費易例將四收區 件如僅面凡備

〇件一 六須每求直扇

發售廣告

合

訂

何

天津

法

租界綠牌電車道

委市

員中醫

楊達夫發

) 白之質科不不極實語) 然實不竹) 者

是話 三二八八八八 行址 法界八號路 三二八八八八

無り時聯間實該) 言為縣其深 矣新教臭知) 稅 育 如 某 具界關詩 祖))人) 有别於

活·房一形妙各數投冠稱·棋花平朱 水能屋躍龍·第十拜絕李後·攀縣世

神組織勾觸迥〕

一易巫) 聲步 綺見山銳細何



華陽天郎根別(不下白海) 美院津藤魚症效果在 特婦男子 大北日器瓶一) 不 中 海岸 東平和七二星不不

文年 曾

行銀華新

落近六 干以

行銀通交

押貸匯國放抵存各點票經內 數物兌內駁押駁項現據職債

路號四界租法庫總行發區津 樓白小路馬北處事辦埠本

書號良價哀抑筆佳本店路機六樂揚之話書 謹同勿角每能生滑有全

事務所認非恐所為 代 理

四天

「持有急緩

笑• 覧

些交交量辦聲 ¬ 天水九易) 兩虛警士)

興革, 借奉一, 目寒五石, 更後炎程腕中滿今十分。

• 噪班物 • 班 • 衣姊班風如好迫本胡只衆幟閣尚活 • 院

口---口令

名

居室立之道 電響電響電響電響 大下至之道 電響電響電響電響 電響電響電響電響 大下可不慎也,大凡男女 不可不慎也,大凡男女 不可不慎也,大凡男女 不可不慎也,大凡男女 不可不慎也,大凡男女 一人,初施挑逗以濃情意 一在乎其人,如舍正道 一在乎其人,如舍正道 一在乎其人,如舍正道

沿前業銀付公國外務行息債庫